

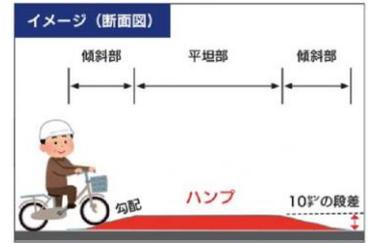
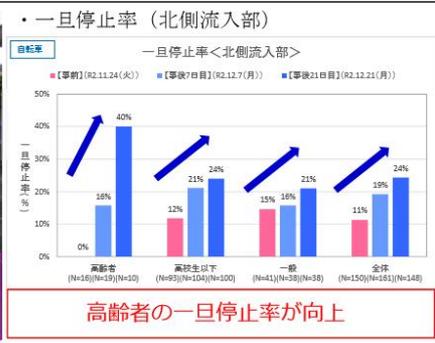
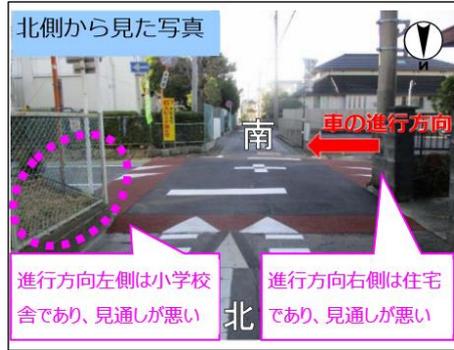
【単年度】焼津市高齢者等自転車利用の交通事故対策社会実験(静岡県焼津市)

1. 実験概要、留意すべき項目

- ・ 高齢者が乗る自転車の一時停止を目的として、生活道路の交差点にハンプを設置し、交通事故の抑制効果を検証する。
- ・ 自転車を対象としたハンプ等は事例は少ないため、全国の地方公共団体等が行う生活道路の交通安全対策における有益な参考事例となり得ること。

2. 実験内容、実験結果 【交差点ハンプの設置】

- ① 自転車の交差点手前での一旦停止
⇒見通しが悪い箇所において効果あり
- ② 自動車の速度抑制
⇒30km/h以上で走行する割合が8%程度減少



自転車の交通安全に関する **社会実験** を実施します

焼津五丁目地区において、近年、交差点等の交通安全対策として全国的に注目されている「ハンプ」の適用について、安全性・有効性等を検証するための社会実験を実施することになりました。

社会実験中は、ご理解とご協力をお願いします。

社会実験期間
令和2年11月30日 月曜日 午後1時開始
令和2年12月21日 月曜日 午後7時迄

社会実験場所<位置図>

実験に使う工事(予定)
11/24~20 (予定期間)
12/2~25 (内2日間)
※工事中は車両全面通行止めとなります。

社会実験箇所<<ハンプ設置イメージ>>

3. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
車と自転車と人の基本的な取り扱いや万が一の時の責任の所在に繋がるものであり、焼津市だけで解決できない全国的な大きな課題であり、国や警察も入って、しっかりと検討を深めて欲しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の実験地については、ハンプ設置後について一旦停止率、降車率が向上する結果となったことから、実験地への設置を検討していく。 ・ 実験地へのハンプ設置については、警察及び関係者との協議調整を図ると共に、地元住民に対し目的、効果を説明し、理解を得られた上で進めていく。 ・ 実験地へハンプを本格導入した際には引き続き、国や警察への情報提供を実施していく。 ・ ご指摘の通り、本取組はどこにでも適用できるというものではないため、当市以外での社会実験の実施も視野に入れつつ、国や警察も含めて検討を深める必要があると考える。
信号が付けられない交差点での代替案としては、有効だと感じ、焼津市内の他の町内会の高齢者の方々や高校生等にもソフト対策として活用すべきである。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の実験結果がどこにでも適用できるわけではないため、まずは実験地へ本格導入して、その効果を再度検証し、次の展開を検討していく。 ・ 実験結果の概要版を作成し、交通安全意識の啓発資料として活用できるよう取り組んでいく。

4. 本格実施に向けた課題、今後の取り組み予定

課題	対応方針
勾配や車両によっては車体底部が接触する可能性がある。	本設置の際にはその観点に留意する。
交差点の状況によりハンプの設置位置や勾配等の検討が必要である。	設置場所ごとで詳細に検討する。
民地境までスロープを築造するため、民地内に道路内の雨水排水が越水する。	越水しないよう処理する。また、集水柵やマンホールの嵩上げをする。
実験時のハンプ設置において、走行車両の円滑性を確保するにあたり、凸部のスロープと平坦部の擦り付けを滑らかに処理する必要がある。	頂点部は所定勾配より緩くなり、本設置の際にはその観点に留意する。

5. 今後のスケジュール

- 令和3年度前半: 地域住民に実験結果報告、本格導入の説明
標識、路面標示、およびハンプ構造等について、警察と協議
- 令和3年度後半: ハンプ導入準備、施工
- 令和4年度前半: ハンプ導入の効果検証
- 令和4年度半ば: 地域住民に検証結果報告
- 令和4年度後半: 市内各自治会へ報告、他箇所への導入検討

6. 制度改正、マニュアル作成、全国展開に向けた提案

- ・ 導入箇所について、今回の実験地と類似した交差点の条件であれば、今回のハンプ構造は有効であると考えられる。
- ・ それぞれの交差点形状、交差点の抱える問題等の条件整理を行ったうえで、ハンプ構造を検討する必要がある。
- ・ 全国的には、ハンプを今回の実験のような目的、形態で活用し、社会的コンセンサスを得ていくというプロセスが必要となるため、当市以外における社会実験の実施も視野に入れつつ、国や警察も含めて検討を深めることが必要である。